

# エコパーク通信

平成27年度11月号



展示館が完成しました



フジバカマの花に  
アサギマダラが飛来しました



曼珠沙華

エコパークの素晴らしさを改めて感じております。普段はお手伝いができず、関心を持っていながらただ様子を見ているだけで、申し訳なく思っております。

私は、植物の素晴らしさと、その生態に強く関心を寄せています。植物の木々には、数千年を生き続ける巨木があり、日本では屋久杉、楠、イチヨウの木などがあります。また、アメリカには、ジャイアントセコイア等があります。巨木に限らず季節ごとに花や実をつける植物も凄い生命力だと思います。この季節にお馴染みの彼岸花（別名：曼珠沙華）です。彼岸に申し合わせたごとく一斉に咲き乱れる花、この植物学上驚くほどの不思議な生態に大変興味を持っております。

エコパークでも見事に咲き誇りました。それは美しい花を咲かせた後、一瞬にして枯れてしまいます。そして一ヶ月程後、その根元に濃い緑色の葉があつという間に伸びます。その状態で冬を越した後、春3月～4月頃になると茂った葉が枯れてしまいます。梅雨や真夏の暑さを地中で球根のまま過ごした後、彼岸に茎を一気に伸ばし、あの特徴ある花を咲かせます。色は赤、白等で、これは球根で増えるがその遺伝子は全て同じの事です。球根は毒性があるといわれる反面、他の作物の飢饉の際、食用として食べられたとも言われています。

これからもエコパークを見守ってお手伝いしたいと思っております。 澤入 勝男



エコパークで遊ぶ園児達が  
静岡新聞に掲載されました



10月16日～10月21日にかけて市内の220余名の園児達がエコパークでどんぐり拾い等、体験学習を行いました。当日は、山本夫婦が用意した水苔に多肉植物を植えたお土産を持ち帰りました。好天に恵まれ園児たちは、秋の一日を思いっきり満喫しました。

御前崎エコクラブ会長

山本 貴美枝